

非常持ち出し品



非常持ち出し品について

災害発生時に早急に避難できるよう、非常持ち出し品を用意しておきましょう。
用意しておけば、水害だけでなく地震災害等でも活用できます。
なお、必要あれば、下記のイラストに示すもの以外にも、眼鏡、コンタクトレンズ、常用薬、おむつ等も用意しておくで安心です。

非常持ち出し品チェック

事前に確認しましょう。準備ができたなら□にチェック

- | | | | | |
|--|--|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> 
懐中電灯と予備電池 | <input type="checkbox"/> 
ロール紙・マッチ | <input type="checkbox"/> 
救急箱やくすり | <input type="checkbox"/> 
小児に必要なもの | <input type="checkbox"/> 
タオル |
| <input type="checkbox"/> 
現金・貴重品・身分証明書など | <input type="checkbox"/> 
携帯ラジオと予備電池 | <input type="checkbox"/> 
火や水の要らない食料(3日分) | <input type="checkbox"/> 
市販の飲料水(3日分) | <input type="checkbox"/> 
ヘルメット |
| <input type="checkbox"/> 
下着・くつ下 | <input type="checkbox"/> 
ロープ | <input type="checkbox"/> 
スリッパ | <input type="checkbox"/> 
笛 |  せつがく揃えをもち出し品も定期的に点検しないと使用できない場合があります。電池や缶詰などの期限を半年に一度ぐらいは点検しましょう。 |



避難場所での3つのマナー

避難場所には家と違ってたくさんの人たちが集まります。勝手な行動をしたり、まわりに迷惑をかけるようなことはやめましょう。みんなが不安なときを過ごす場所なのでお互いに協力しあって過ごしましょう。

1 ゆずりあい

避難場所は限られたスペースしかありません。ケガをしている人や体の不自由な人たちなどには場所をゆずりあいましょう。また、トイレの順番などもゆずりあいましょう。



2 たすけあい

ケガをしている人や体の不自由な人、また病気の人なども避難場所には集まります。健康で元気な人たちが先頭になって、みんなが快適に過ごせるようにたすけあいましょう。



3 おもいやり

大きな声を出したり、走り回ったりすると、まわりの人たちの迷惑になります。お互いにおもいやる気持ちをもって、避難場所では過ごしましょう。

